

漁海況月報

No. 11

平成18年11月1日

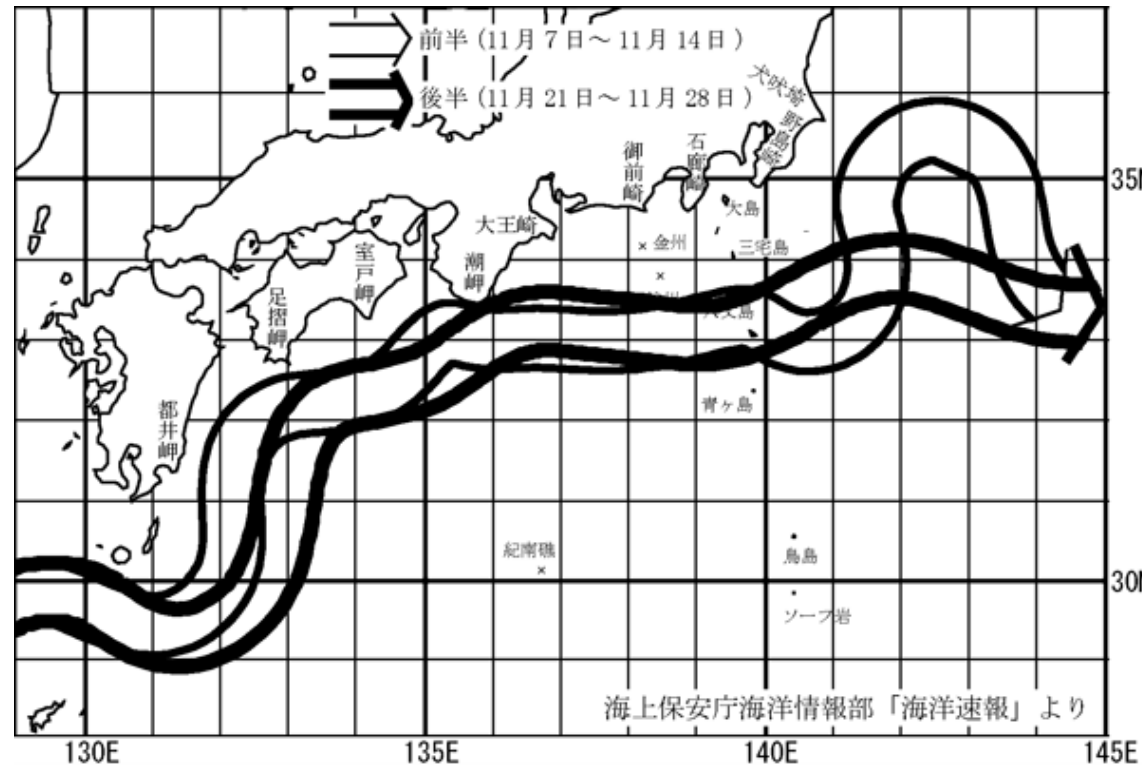
～11月30日

静岡県水産試験場

(電話 054-627-1815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	21.5	21.8	21.3	21.1	21.4	21.7	19.7
	1.5	1.1	1.0	0.1	1.2	1.8	0.7
中旬	19.8	19.8	19.1	18.7	18.9	19.2	16.9
	0.6	0.0	-0.2	-1.7	-0.6	0.3	-1.2
下旬	19.0	19.3	19.3	18.7	18.3	18.5	15.9
	0.8	0.3	0.9	-0.5	-0.4	0.6	-1.1
月	20.1	20.3	20.0	19.5	19.6	19.9	17.4
	0.9	0.5	0.7	-0.7	0.1	1.0	-0.6

【黒潮流路】

黒潮は、前半には九州東岸を接岸傾向で流れた後、四国の土佐湾沖で小規模に蛇行した。その後、潮岬沖に接近し、遠州灘沖 33° Nを八丈島付近まで東進後、同島の東で小蛇行し、141.5° E付近を北上した (D型流路)。

後半には、前半に土佐湾沖にあった小蛇行が紀伊水道沖へと移動し、黒潮は九州東岸で前半に比べ約 35 マイル離岸し、九州から四国にかけて離岸傾向で流れた。潮岬以東では、八丈島の東の小蛇行が東方へ移動し、黒潮は遠州灘沖 33° Nから八丈島付近を通り、房総沖を大きく離岸して東方へ流れた (N型流路)。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 17～22°C 台、駿河湾東部では 17～22°C、西部では 14～22°C 台で経過した。平年に比べ、上旬は全般に高めであったが、中旬以降、平年並み～低めとなった。なお、遠州灘西方では中旬に 21～22°C 台の暖水波及がみられた。

【竿釣近海カツオ】

11月の県内主要5港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海カツオの水揚量は5トンで前年同期の 22% であった。魚価は 587 円/kg で、前年同期を大幅に上回った。

近海竿釣り船は津軽東沖～三陸東沖で大～チンまで様々なサイズのカツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
18年11月上旬	4	5	0.7	519
	1	3	0.5	738
	0	0	-	-
18年11月計	5	8	0.7	587
17年11月計	23	11	2.1	219
16年11月計	95	48	2.0	428

【定置網】

平成18年11月、伊豆半島東岸大型定置網8か統 (伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津) の水揚量は78トンで、昭和57年以降で最も少ない水揚量であった。操業がなかった赤石と谷津を除く1漁場当たり水揚量13.0トンは前年42.6トンの31%、平年値 (昭和57～平成17年) 33.9トンの38%であった。

魚種別漁獲量は、①メアジ12.5トン (A:前年同月比8145%、B:平年同月比335%) ②サバ類11.5トン (A:7%、B:25%) ③フグ類9.9トン (A:1841%、B:107%) ④ウルメイワシ5.3トン (A:33%、B:64%) ⑤マルソウダ5.1トン (A:10%、B:15%) の順であった。

メアジは川奈に集中的に入網し、尾叉長のモードは20cmであった。サバ類はゴマサバ主体で、伊豆山、富戸、赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは32cmであった。フグ類はシロサバフグ主体で川奈、伊豆山、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは22cmであった。ウルメイワシは古網、川奈を中心に入網し、被鱗体長のモードは15.5cmであった。マルソウダは川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは30cmであった。

漁場別水揚量は、川奈27トン (メアジ、フグ類、マルソウダ中心)、伊豆山18トン (サバ類、フ

グ類、マアジ中心)、北川13トン(フグ類、マアジ中心)の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港に水揚げされたサバ類は、前月の水揚量(323トン)を上回る491トンであった。漁場は、三本及び三宅海域に形成され、ゴマサバがほとんどであったが、下旬後半にはマサバ0.2トンが混獲された。水揚げされたゴマサバは、尾叉長28~34cmの大きさの2004年級と思われるものを主体に、35cm以上のものが混じっていた。マサバは、尾叉長29~36cmの大きさであった。1kg当たりの平均単価は49円であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(ト)	日数	延隻数	1隻当たり(ト)	漁 場
平成18年 上旬	292	5	12	24.3	三本
11月 中旬	67	1	2	33.6	三本
下旬	132	2	4	32.9	三本、三宅
計	491	8	18	27.3	-----
平成17年11月	750	10	20	37.5	三宅
平成16年11月	1,243	12	46	27.0	新島、高瀬、三宅

[サクラエビ船曳網]

11月の水揚量は5日で172トンとなり、前年を下回った。漁場は主に三保沖に形成された。また、漁獲されたサクラエビは、体長29mmにモードを持つ当歳エビと39mmにモードを持つ1歳エビで構成され、1歳エビが主体であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(ト)	日数	1日1か統当たり(kg)	漁 場
平成18年11月 上旬	104	2	平均 866	三保沖
中旬	46	1	平均 774	三保沖
下旬	22	2	平均 184	三保沖
平成18年11月 計	172	5	平均 575	—
平成17年11月 計	276	9	平均 512	三保~焼津沖
平成16年11月 計	168	10	平均 280	焼津~相良沖

[シラス船曳網]

11月における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で156kg、遠州灘で150kgだった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は152kgと前年同期(70kg)の2.2倍、平年同期(過去5か年平均:136kg)の1.1倍%と前年同期、平年同期ともに上回った。また、総水揚量は263.0トンで前年同期(63.9トン)の4.1倍、平年同期(220.4トン)の1.2倍と前年同期、平年同期ともに大幅に上回った。平均単価は893円/kgと平年同期(1,054円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	15.4	12	142	108	743
舞 阪	64.5	11	404	160	746
福 田	45.2	12	304	149	848
御前崎	30.2	16	187	161	845
吉 田	60.5	16	416	145	847
静 岡	47.3	13	273	173	1,274
平成18年11月計	263.0	80	1,726	152	893
平成17年11月計	63.9	55	910	70	1,026
平成16年11月計	71.5	74	1,321	54	1,810

[まき網]

マイワシの水揚げは、小川港では16.7トンで平年同期(63.1トン)の26%、沼津港では39.9トンで平年同期(54.1トン)の73.8%で低調に推移した。また、静浦港では0.1トン(平年同期は0.3トン)、伊東港では0.1トン(平年同期は169.8トン)でほとんど水揚がなかった。

注) 平年同期:過去5か年平均

[調査船の動向]

富 士 丸

11月2日 ~ 12月6日 第5次南方カツオ航海調査

駿 河 丸

11月1日 ~ 11月2日 マリンロボ調査(2日間)
 11月6日 ~ 11月7日 地先定線観測(駿河湾、遠州灘)(2日間)
 11月8日 ~ 11月10日 地先定線観測(駿河湾、遠州灘)(3日間)
 11月16日 ~ 11月16日 マリンロボ調査(3号基)(1日間)
 11月21日 ~ 11月22日 サバ調査(駿河湾)(2日間)
 11月27日 ~ 11月27日 深層水調査(駿河湾)(1日間)
 11月29日 ~ 11月29日 マリンロボ調査(3号基)(1日間)

静岡県水産試験場のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/imode/index.htm>

右のQRコードをご利用ください

